



猫も、異人さん。

日本に生息する猫のしっぽの形は、古来から、真っ直ぐ長いのが一般的です。
でも長崎にいる猫の約8割は先端が曲がっているか、短いか、お団子のような形。
長崎で「尾曲がり猫」と呼ばれる猫は、特にインドネシアに多く生息しています。
江戸時代、ヨーロッパとの貿易を担う東インド会社のアジア支店があったのがインドネシア。
当時の船は木造で、積荷を食べたり、船体をかじったりするネズミを駆除するために
船に乗せていた猫が、日本に住みついたと考えられています。
長崎市は文化や人だけでなく、猫まで世界から訪れていたんですね。
旅の途中で猫に会ったら、しっぽに注目です。

尾曲がり猫

長崎で、会いましょう。

